＼働く仲間の笑顔のために／

田村まみ通信

mamitamura.com　令和3年 6月号

今国会２度目の本会議登壇！！

“総理大臣に初の本会議代表質問”

2021
5/19

所属議員数の少ない政党に所属すると新人議員といえども多くの活躍の場を与えていただけます。
初当選後約２年間で５回目の本会議登壇となりますが、本会議で総理大臣に質問するのは今回が初めてです。
総理大臣は国会に提出される全ての法案審議に出席するのではなく、国民生活に密接しているものや、国のシステムを変えるなど、とりわけ重要な法案にのみ出席し、各党代表者から質問を受けます。

今回代表質問をした「全世代対応型の社会保障制度を構築する健康保険法等の一部を改正する法律案」は、私たちが生まれてから亡くなるまで付き合うことになる最も身近な社会保障制度、医療保険制度についての法案です。
身近でありながら複雑な制度で、これまでに制度の持続可能性について何度も問われてきましたが、その危機感を身近に感じられる方は少ないのではないでしょうか。
報道などでは特にわかりやすい「後期高齢者の医療費の窓口負担が１割から２割になること」が最大の焦点とされていますが、これも所得や世代間で考え方が大きく違い、いざ改革となると難しいところです。

以前、総理大臣が「この改正では（窓口負担が増える）対象者が狭すぎる」という趣旨の発言をしていたので、その真意を質しましたが、「まずは今回の２割負担にご理解をいただくことから」というあいまいな答弁しか返ってきませんでした。
引き続き、厚生労働委員会でも質疑に立ち、医療制度の持続可能性や医療へのフリーアクセスの確保について質して参ります

2021
5/25

5/7、5/21　ＮＨＫ中継　議院運営委員会

緊急事態宣言下での百貨店・大型商業施設への休業要請について質す！

百貨店・大規模商業施設への協力要請において、西村大臣は先の記者会見でも雇用調整助成金や協力金で固定費のかなりの部分をカバーできるとしており、この日の答弁でも規模に応じた支援を十分していると答えましたが、現行では協力金の対象となるのは直営売場と催事場の一部だけでテナント区画や駐車場、通路やエスカレーター部分は対象になりません。

事業側から「商業施設の判断により休業をしているテナントから家賃を請求することは難しく、事業者の負担は甚大なものになる。これでは共倒れになってしまう。」との声が多く上がっていることを政府は理解し見直すべきだ、と訴えました。

5/25　厚生労働委員会

潜在看護師等のワクチン接種協力促進へ、１３０万円の壁に配慮を！

潜在看護師等の接種への協力を求める中で、健康保険扶養認定の１３０万円の壁があると指摘。一時的な収入増で被扶養者認定が取り消されることのないよう、国の統一的な対応を求めました。

この件については、昨年の一度目の緊急事態宣言時、食料品の買い占めや巣ごもり需要で、一時的に労働時間が増えたスーパーマーケットで働くパートタイマーの方からも同じような相談を多く寄せられており、田村大臣の所信演説の際にも改善を求めていました。

田村大臣からは、確実に超えてしまうと明らかでなければ、直ちに取り消しとはしないこと、厚生労働省からは、一定の指針等を示して現場で柔軟・適切に対応頂くとの答弁がありました。

友だち募集中

LINE 「田村まみ＠応縁団」

この通信でご紹介した田村まみの
国会質疑の告知や詳細情報を
タイムリーに発信しています。

「今週の活動」のコーナーでは、
日々の活動報告や田村まみの素顔も

お友だち登録をお願いします！